

製品名: HP1 アルファウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00046**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 22 kDa; Observed MW: 22 kDa

抗原情報

遺伝子名	CBX5
別名	CBX5; HP1A; Chromobox protein homolog 5; Antigen p25; Heterochromatin protein 1 homolog alpha; HP1 alpha
遺伝子 ID	23468
SwissProt ID	P45973
免疫原	ヒト HP1α の合成ペプチド

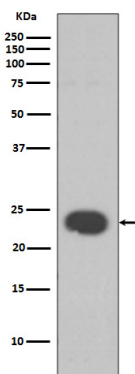
背景

ヘテロクロマチンの構成要素で、ヒストン H3 末端の Lys-9 メチル化 (H3K9me) を認識して結合し、エピジェネティックな抑制を引き起こす。一方、ヒストン H3 の Tyr-41 がリン酸化 (H3Y41ph) されると、クロマチンから排除される。ラミン B 受容体 (LBR) と相互作用する。この相互作用は、ヘテロクロマチンと核内膜の結合に寄与する。MIS12 複合体タンパク質との相互作用を介して、機能的なキネトコアの形成に関与する。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



HP1 アルファ抗体を使用した SH-SY5Y 溶解物中の HP1 アルファのウエスタン ブロット分析。